

リーディングDXスクール事業 【実践事例】

春日井市立中央台小学校(愛知県)【指定校】

【取組内容】 ①「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実授業におけるGoogleフォームの活用

【実践内容】

【国語】

・1年生の振り返りは、まだ書くことに時間がかかったり、言葉がうまく出てこない児童がいたりするため、フォームを使って振り返りをした。

【特別支援・国語】

・交流学級と単元を同じ時間に進めて、支援級にしながら「リアルタイムに交流学級とつながっている授業」を目指した。情報収集の活動ではフォームでアンケートを自作し、交流学級の児童にチャットで送った。

【実践の振り返り】

・フォームで選択肢を与えることで、低学年でも自分の達成度を確認することができた。回答は瞬時にグラフになり、教員も把握がしやすい。

・交流学級の仲間たちからも意見交換できるのは、チャットやフォームの利点と言える。さまざまな視点から指摘を受け、情報収集に活かすことができた。ICTを活用することで、児童が落ち着いて学習できる場所で他者を参照できたり、つながったりすることができるのが特に有効であった。

じぶんで メモと おなじ ぶぶんを さがそうしましたか。*

さがそうとした

さがそうとしませんでした

じぶんで メモと おなじ ぶぶんを まるを つけましたか。*

まるをつけることができた

まるをつけることができなかった

ともだちに せつめい することが できましたか。*

せつめいすることができた

せつめいすることができなかった

